



## グローバル・メガピース

# 足元の投資環境と運用状況

「グローバル・メガピース」は、2018年2月1日より運用を開始し、約4カ月が経過いたしました。本資料では、足元の投資環境と当ファンドの運用状況についてご紹介いたします。

## 本資料のポイント

### ファンド コンセプト

2つの株式テーマとインカム債券の戦略により  
**メガトレンド**  
**社会の構造変化**を捉え、資産の成長をめざす  
積極成長型のバランスファンドです。

### 足元の 投資環境

足元の金融市場では、  
米金利上昇への懸念や先行き不透明感の台頭から、  
株式や為替などで、上値の重い展開が続きました。

### ファンドの 運用状況

当ファンドにおいては、  
株式、債券、それぞれの戦略が強みを発揮し、  
基準価額は安定的に推移しました。

次ページ以降で、詳しくご紹介いたします

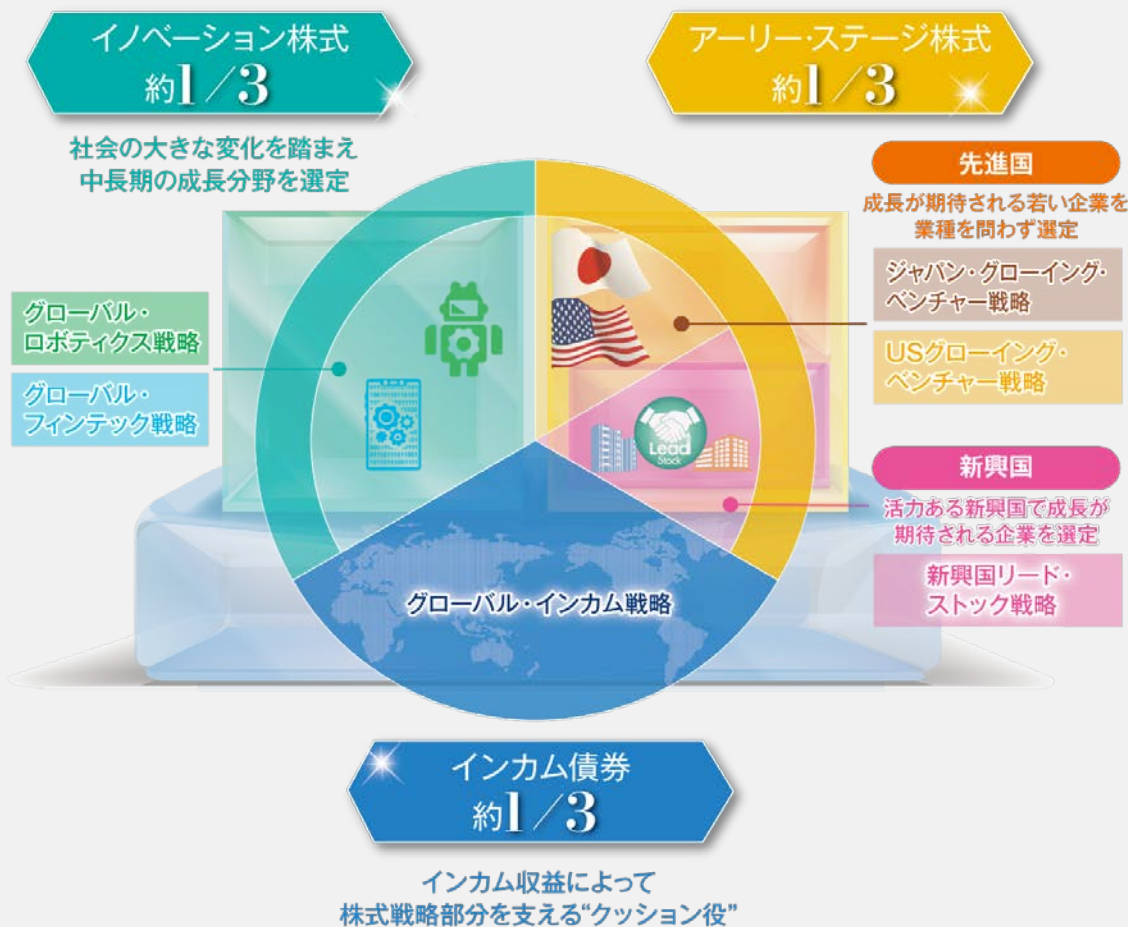
## 当ファンドのコンセプト

当ファンドは、積極的な資産形成手段として、社会の構造変化を捉える2つの株式テーマに着目し、収益の獲得をめざします。さらに、「インカム債券」をテーマとした投資戦略を加えることで、分散投資によるリスク低減とインカム収益の獲得をめざします。

メガトレンド

### 社会の構造変化を捉える株式戦略中心の積極成長型ファンド

<基本資産配分>



- ※ 各資産への投資は、別に定める投資信託証券を通じて行ないます。戦略および投資先投資信託証券は適宜見直しを行ないますので、追加、変更される場合があります。
- ※ 「イノベーション株式」と「アーリー・ステージ株式」についてはそれぞれ約1/3±6.6%、「インカム債券」については約1/3±3.3%の範囲内を目的に資産配分比率の変更を行ないます。
- ※ 上記は2017年11月末現在の各テーマの基本資産配分比率であり、今後変更される可能性があります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は、金融市場での不安定な展開を受け、2月の設定直後は下落したものの、その後は安定した推移が続いています。

各テーマの投資配分については、概ね3分の1ずつとしています。引き続き、世界景気が拡大基調にあることを背景に、企業業績の拡大が期待されることなどから、株式比率を幾分高めています。

### 不安定な市場環境ながら、当ファンドは安定した推移が続く

#### 基準価額の推移

(2018年2月1日(設定日)～2018年5月25日)



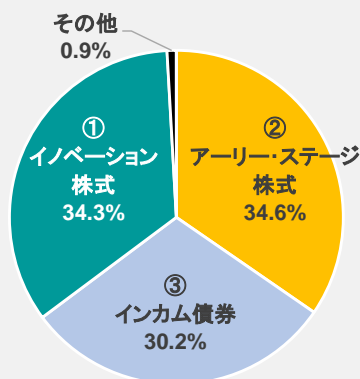
2018年5月25日現在

基準価額 **9,670円**

純資産総額 **233億円**

※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

#### ポートフォリオの状況 (2018年4月末現在)



※資産構成比率は当ファンドの純資産総額比です。

<ポートフォリオの内訳>

<比率>

<b>① イノベーション株式</b>		<b>34.3%</b>
	グローバル・ロボティクス戦略	17.2%
	グローバル・フィンテック戦略	17.1%
<b>② アーリー・ステージ株式</b>		<b>34.6%</b>
先進国	ジャパン・グローイング・ベンチャー戦略	8.7%
	USグローイング・ベンチャー戦略	8.7%
新興国	新興国リード・ストック戦略	17.2%
<b>③ インカム債券</b>		<b>30.2%</b>
	グローバル・インカム戦略	30.2%
<b>その他</b>		<b>0.9%</b>

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

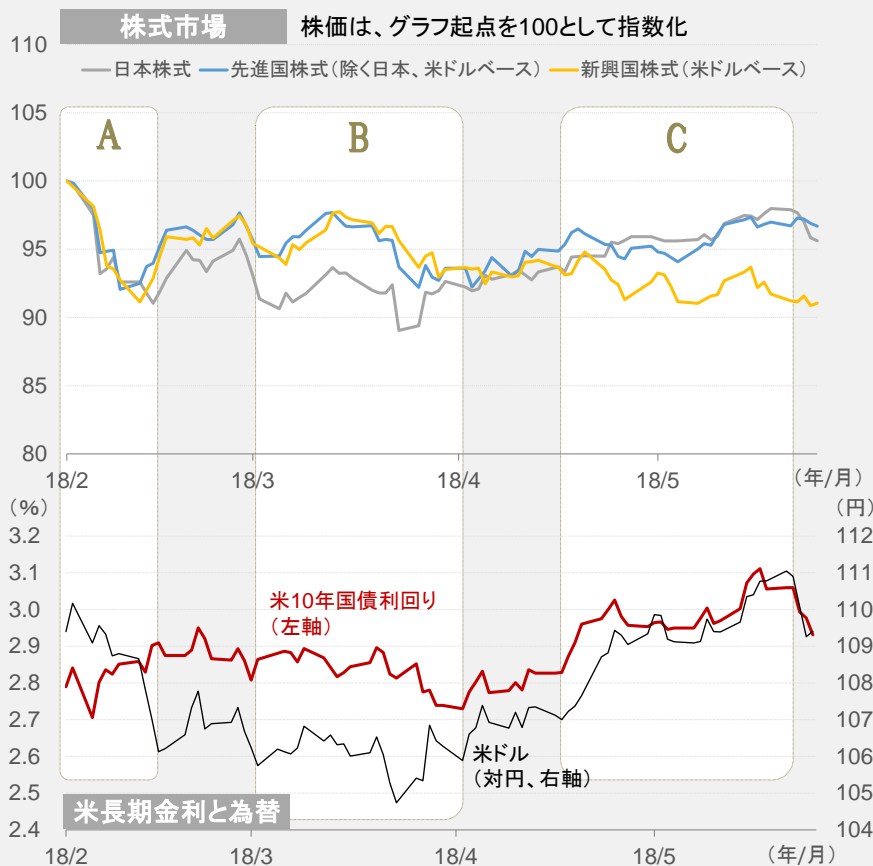
当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 足元の投資環境

2月以降の金融市場は、米長期金利の上昇を受け、下落して始まりました。その後も、地政学リスクの高まりや米通商政策を巡る先行き不透明感、米金利上昇懸念などの材料が交錯し、上値の重い展開が続きました。

### 先行き不透明感の台頭から、上値の重い展開が続いた金融市場

主な資産の推移  
(2018年2月1日～2018年5月25日)



#### A 米長期金利の急上昇

良好な雇用統計の結果を受け、利上げ観測が強まると、米10年国債利回りが上昇しました。市場では動揺が広がり、**株価が大きく下落したほか、投資家のリスク回避の動きから円高が進む**など、市場変動の高い展開が続きました。

#### B 米中貿易摩擦への懸念

3月前半に、**トランプ米大統領が対中関税強化策を発表**したことから、世界貿易への影響が懸念されたほか、**米SNS大手での情報漏えい問題**を契機に、好調に推移していたテクノロジー関連株が売られ、相場全体の重しとなりました。

#### C 米長期金利上昇と円安進行

4月中旬に、中国が米国との通商交渉に意欲を示したほか、市場開放を発表したことが好感されました。その後、**米金利上昇に伴う米ドル高を受け、新興国の対外債務の負担増懸念から、新興国株式は軟調となったものの、先進国株式が落ち着きを取り戻したほか、為替は米ドル高・円安**となりました。

日本株式: TOPIX(東証株価指数)、先進国株式: MSCIワールド(除く日本)指数、新興国株式: MSCIエマージング・マーケット指数  
いずれも配当込み指数を使用。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

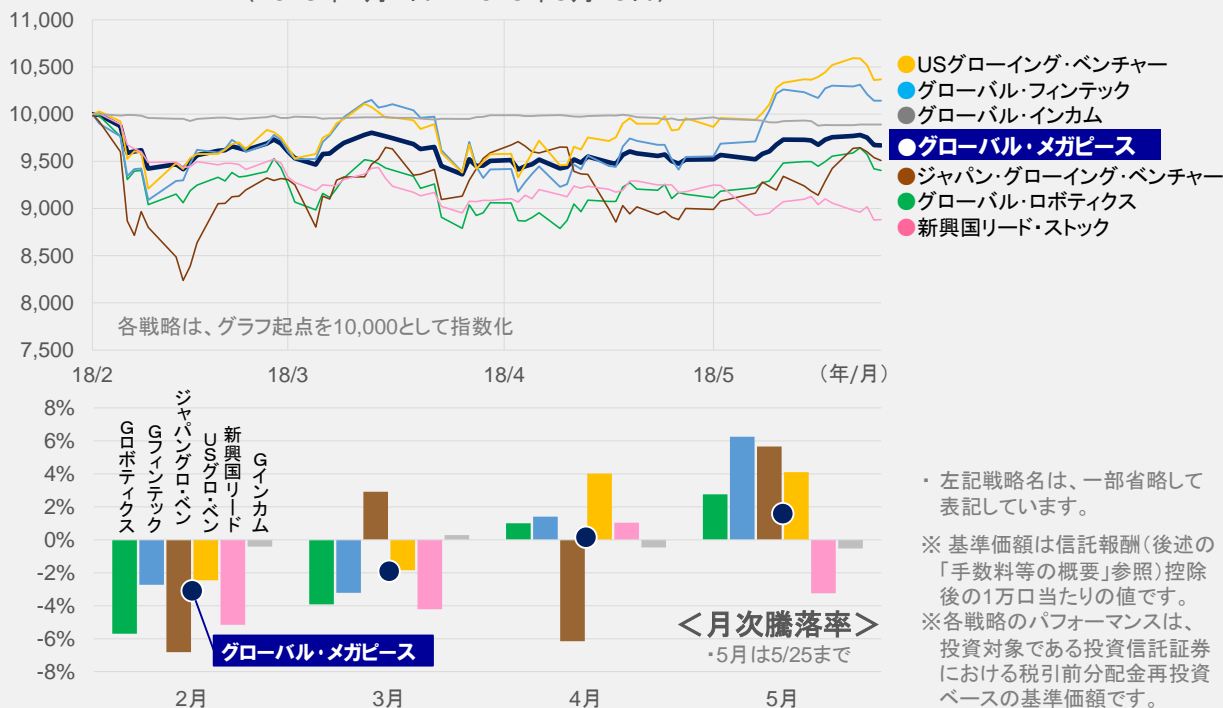
## 当ファンドの運用状況

足元で不安定な相場展開が続くなか、当ファンドでは、2つの株式テーマおよびインカム債券が強みを発揮し、基準価額の安定的な推移につながりました。

今後も、社会の構造変化を捉える2つの株式テーマに債券を加えた資産配分により、分散投資によるリスク低減を図りながら、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。

### インカム債券が「クッション役」となり、基準価額は安定化

各戦略と当ファンドのパフォーマンス  
(2018年2月1日～2018年5月25日)



ポイント①

#### 為替の影響を背景に、全体では方向感が欠く展開ながら、2つの戦略が健闘

当ファンドは、ポートフォリオの約半分を外貨建て資産が占めており、3月にかけての急速な円高進行は、多くの戦略の上値を抑える展開となりました。しかし4月以降は、円安も追い風に「USグローイング・ベンチャー戦略」「グローバル・フィンテック戦略」を中心に健闘し、基準価額の押し上げに寄与しました。

ポイント②

#### グローバル・インカム戦略が、基準価額の安定化に貢献

株式の各戦略は、足元で月間の価格変動が大きくなる傾向となりました。ただし当ファンドでは、「**グローバル・インカム戦略**」が、**インカム収益の獲得とともに「クッション役」としての役割**を担うことで、足元の軟調な相場展開においても、基準価額の安定化につながりました。

※ 税引前分配金再投資ベースとは、当該ファンドならびに投資信託証券に分配金実績があった場合に、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## ファンドの特色

- 1** <sup>メガトレンド</sup> 社会の構造変化を捉える2つの株式テーマに着目し、収益の獲得をめざします。
- 2** 2つの株式テーマに債券を加え、インカム収益の獲得をめざします。
- 3** 各戦略に基づく投資は、日興アセットマネジメントが厳選したファンド（投資信託証券）を通じて行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項

### リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。

なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式および債券などを実質的な投資対象としますので、株式および債券などの価格の下落や、株式および債券などの発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

- 【価格変動リスク】 【流動性リスク】 【信用リスク】 【為替変動リスク】
- 【カントリー・リスク】 【デリバティブリスク】 【未上場株式などの組入リスク】
- 【延長リスク／期限前償還リスク】 【期限前償還に伴う再投資リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・メガピース」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
ご購入単位	ご購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	ご購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	ご購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2028年1月25日まで(2018年2月1日設定)
決算日	毎年1月25日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日、英国証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要 お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

### <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.809%(税抜1.675%)以内を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>当ファンドの信託報酬率: 純資産総額1,000億円以下の部分..... 年率1.6632%(税抜1.54%) 純資産総額1,000億円超の部分..... 年率1.4472%(税抜1.34%)</li> <li>投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率: 年率0.1458%(税抜0.135%)以内</li> </ul> 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド(投資助言) ピムコ ジャパン リミテッド
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">http://www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○		
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	

(資料作成日現在、50音順)

